

# MS104-FPGA/CIII

## サンプル HDL プログラム解説

1版 2008年12月10日

### 1. 概要

#### 1.1 概要

本アプリケーションノートは MS104-FPGA/CIII に付属するサンプル HDL プログラムについて解説します。  
MS104-FPGA/CIII には下記のサンプルプログラムが付属しています。

サンプル HDL プログラム	動作内容
PC/104 バス用サンプル HDL プログラム (SLABE)	・ PC/104 バス I/O 空間アクセス ・ PC/104 バス MEMORY 空間アクセス

詳細な動作内容に関しては、後述の「4. 動作説明」を参照してください。

#### 1.2 設定

本サンプル HDL プログラムは MS104-FPGA/CIII と、マスタとなる PC/104 規格準拠 CPU ボード (弊社製 MS104-SH4AG, MS104-SH4, MS104-SH2 等) で動作します。MS104-FPGA/CIII の設定スイッチは出荷時設定としてください。マスタボードの設定等につきましては、マスタボードのマニュアル等を参照してください。

#### 1.3 開発環境について

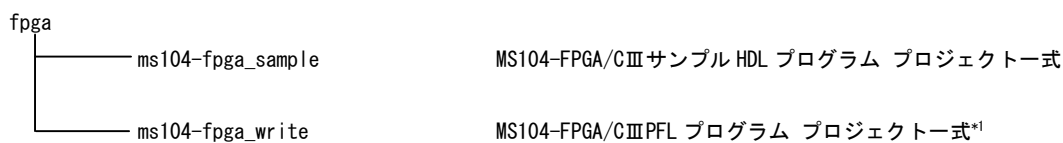
本サンプル HDL プログラムは FPGA/CPLD 開発ソフトウェア Quartus II を用いて開発されています。サンプル HDL プログラムに対応する開発環境は以下のようになります。

フォルダ	開発環境	バージョン
ms104-fpga_sample	Quartus II	Version8.0 SP1 以降

※ Quartus II Web Edition はアルテラ社のウェブサイトからダウンロードできます。

## 2. サンプル HDL プログラムの構成

MS104-FPGA/CIIIに付属の CD-ROM に収録されているサンプル HDL プログラムは下記のようなフォルダ構成になっています。サンプル HDL プログラムはあらかじめ Quartus II のワークフォルダにコピーし、開発を行ってください。



\*1 PFL についての詳細はアプリケーションノート「AN1201 FLASHROM の書き込み方法」を参照してください。

Fig 2-1 サンプル HDL プログラムの構成

## 3. プロジェクトファイルの読み込み

① Quartus II を起動します。

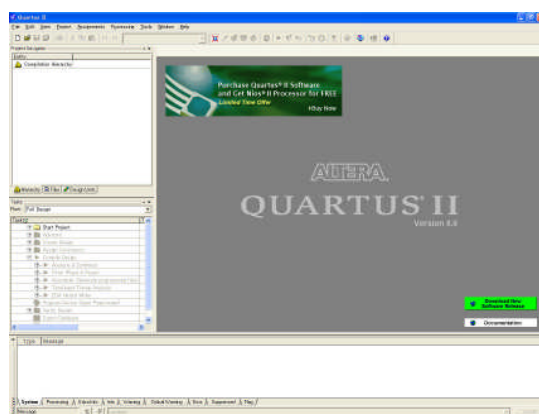


Fig 3-1 Quartus II の起動

② Quartus II の [File] メニューから [Open Project] を選択し、Quartus II のワークフォルダ内の [fpga] - [ms104-fpga\_sample] 内にある「ms104-fpga\_sample.qpf」ファイルを選択します。

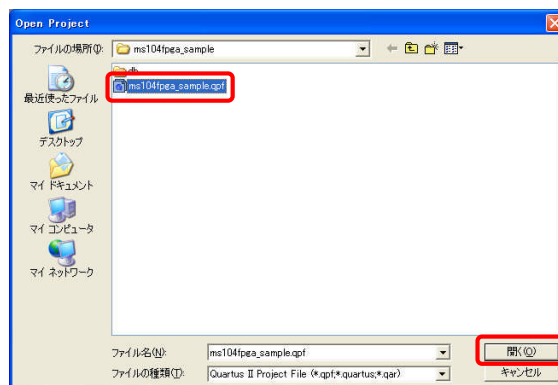


Fig 3-2 プロジェクトファイルの選択

③ 以上でプロジェクトファイルの読み込みは完了です。Quartus II の詳細な使用方法につきましては、Quartus II のマニュアル等を参照してください。

## 4. 動作説明

### 4.1 サンプル HDL プログラム動作説明

本サンプル HDL プログラムは以下の動作を行います。

項目	動作
PC/104 バス I/O 空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ LED (LD1~LD4) の点灯/消灯制御</li> <li>・ ロータリスイッチ (RSW1) のポジションの読み出し</li> </ul>
PC/104 バス MEMORY 空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FPGA 内に 4KByte のメモリを持ち、リード/ライトが可能</li> </ul>

Table 4-1 サンプル HDL プログラム動作説明

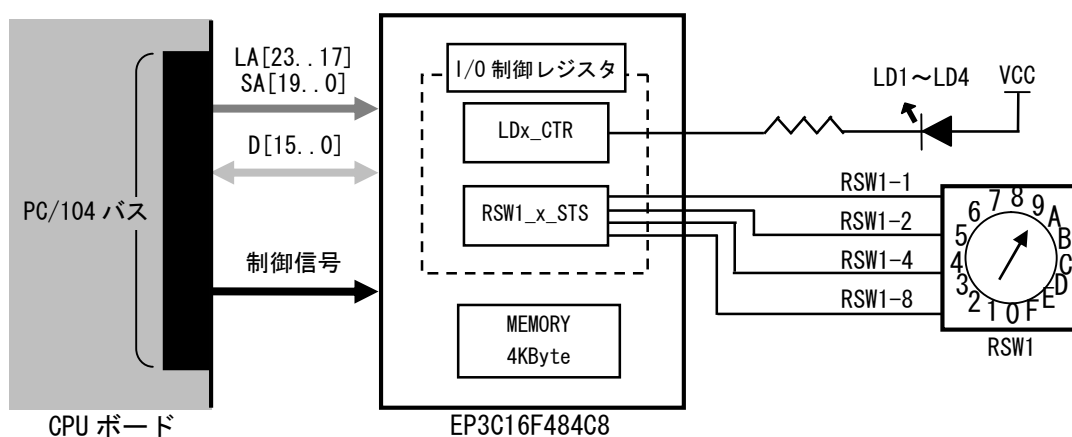


Fig 4-1 サンプル HDL プログラム動作構成図

### 4.2 アドレスマップ

空間	アドレス	機能	ビット幅
I/O 空間	H' 000000	I/O 制御レジスタ	16bit
	H' 000001		
	H' 000002	未使用	
	H' FFFFFFFF		
MEMORY 空間	H' 000000	メモリ領域 (4KByte)	16bit
	H' 000FFF		
	H' 001000	未使用	
	H' FFFFFFFF		

Table 4-2 アドレスマップ

### 4.3 I/O 制御レジスタ

本サンプルプログラムでは MS104-FPGA/CIII の LED 制御、RSW1 のモニタ用の I/O 制御レジスタがあります。

ビット	15	14	13	12	11	10	9	8
名称	-	-	-	-	-	-	-	-
初期値	0	0	0	0	0	0	0	0
R/W	R	R	R	R	R	R	R	R

ビット	7	6	5	4	3	2	1	0
名称	LD4_CTR	LD3_CTR	LD2_CTR	LD1_CTR	RSW1_8_STS	RSW1_4_STS	RSW1_2_STS	RSW1_1_STS
初期値	0	0	0	0	-	-	-	-
R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R	R	R	R

Table 4-3 I/O 制御レジスタ

ビット	ビット名称	初期値	R/W	機能
15~8	-	0	R	未使用
7~4	LDx_CTR	0	R/W	0:LDx 消灯 1:LDx 点灯
3~0	RSW1_x_STS	-	R	0:RSW1_x HIGH 1:RSW1_x LOW

Table 4-4 レジスタの説明

ポジション	RSW1_8_STS	RSW1_4_STS	RSW1_2_STS	RSW1_1_STS
0	0	0	0	0
1	0	0	0	1
2	0	0	1	0
3	0	0	1	1
4	0	1	0	0
5	0	1	0	1
6	0	1	1	0
7	0	1	1	1
8	1	0	0	0
9	1	0	0	1
A	1	0	1	0
B	1	0	1	1
C	1	1	0	0
D	1	1	0	1
E	1	1	1	0
F	1	1	1	1

Table 4-5 RSW1 のポジションに対する RSW1\_x\_STS の値

## ご注意

- ・本文書の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有します。
- ・本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本文書に記載されている内容についての質問等のサポートは一切受け付けておりませんのでご了承ください。
- ・本文書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点、誤りなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡下さい。
- ・本文書の内容に基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

- ・Windows®の正式名称は Microsoft®Windows®Operating System です。  
Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
Windows®XP は、米国 Microsoft Corporation.の商品名称です。  
本文書では下記のように省略して記載している場合がございます。ご了承下さい。  
Windows®XP は Windows XP もしくは WinXP
- ・CycloneⅢは ALTERA の登録商標、商標または商品名称です。
- ・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



株式会社アルファプロジェクト  
〒431-3114  
静岡県浜松市東区積志町 8 3 4  
<http://www.apnet.co.jp>  
E-MAIL : [query@apnet.co.jp](mailto:query@apnet.co.jp)